

会場⑤—1 屋久島町立八幡小学校 5年生

- 花壇を田んぼにすることは画期的な発想だと思いました。
稲作は遙か昔から存在するのでこの経験はとても大切であり、思い出にも残ると思います。自らの手で作るコメは達成感と米作りの大変さが分かったと思います。また、課題点や解決策なども理解していて素晴らしいと感じました。
- 私も小学生のころコメ作りを行ったので、大変だということをよく知っています。それと同時に、米作りのやりがい、皆と協力することの楽しさ、そして自分で作った米のおいしさを味わえたと思います。示してくれた写真の様子から、楽しそうに作業しているみんなの様子が伝わってきて、素晴らしい発表でした。
- 体験したことについて順を追って説明があったことで、様子が目に浮かぶようでした。スライドには英語での説明が書かれてあり、工夫されていると思いました。さらに良いところだけでなく、課題と解決方法に分けて分析していたことで、深い学びができたのだと感じました。
- 具体的に考え課題をもって活動していてよいと思いました。米作りから学びを得ているところがよいと感じました。米作りの良い所をみんなで考えて箇条書きで書かれていてわかりやすかったと感じました。これからも地元のことについて学びを深めていってほしいです。
- 花壇から新しく田んぼを作って米作りに挑戦してみたということから環境について学んでみたということでしたが、昔の道具を使ってだっこくしたり、わらをにわとり小屋に使ったりと素晴らしい活動でした。今回の活動を通じて米作りだけでなくどんな活動がSDGsと結び付けることができるのか考えていけるとさらに良いと思いました。これからも考え続けてみるということを頑張ってみてください。
- お米作りを通じた発表で、とてもよく活動できていると感じました。課題を見つけるだけでなく、きちんと解決方法まで考えられていてとてもよいと思いました。特に、一人では作業が難しくて大人数で作業する必要があることに気づけたことは、体験しないと気づかないことだと思うので、とても素晴らしいことだと思います。これからも頑張ってください。
- 分からない言葉があっても、写真や絵と共に説明がされていたのでとても分かりやすかったです。体験をするより深い学びができるし、お米を小学校で作ることで下の学年にも受け継いでいけることで米作りを継承できるという考え方が素敵でした。米づくりの課題から解決方法も見つけ出して活動しようとしているところがいいと思いました。
- 昔ながらの方法で米作りの体験をしたというところと、それがSDGsと関連付けられている、というところに今回の活動の価値がとても感じられました。今回のような自然を相手にした体験は、今後行う活動にもきっと活かすことが出来ると思います。
- 花壇を田んぼにするところから始めていて驚きました。自分たちの経験から米作りの課題と解決策を考えつつ、SDGsとの関連性を明らかにすることができていて、主体的な学びができていたと感じました。今後は

米作りで得た学びをさらに深めて「14 海の豊かさを守ろう」「15 陸の豊かさを守ろう」に着目し、田んぼが自然の一部としてどのような役割を担っているかなど考えてみたら面白いのではないかと思います。

- 稲の田植えから収穫まで一連の流れをしっかりと振り返る事ができているため、もし次ぎに田植えをするときには、すべて教えて貰わなくてもスムーズにできるようになっていると思います。一方で、農薬を使わない=安全ということ説明していましたが、農薬を使わなかったら収穫量や収穫物の見た目はどうなるでしょうか。皆さんが普段食べている野菜などは安全面を考慮した上で農薬が使われているものが多いと思います。興味があったら、農薬に関してもう少し詳しく考えてみてください。
また、私は新潟県出身で、お米に対しての愛とプライドがあります。鹿児島からも美味しいお米をさらに広めて行って欲しいと思います。
- 素敵な発表ありがとうございました。せんばこきなどの昔の道具を使ってどんなことを感じましたか？現代は収穫や脱穀がすべて機械できる中で、昔ながらの大変さや昔の人の苦勞が感じられたら良いなと感じました。
- お米作りを一から生徒たち主体で行っている様子は、とても良かった。自分が聞き逃してしまっただけかもしれないが、専門の方をお呼びして、行ったのか、学校の人たちのみで行ったのか気になった。問題解決をし、さらに課題が出てくることは素晴らしいことだと思う。
- 学校の花壇にコメ作りをするに当って何をするのか言葉だけではなく、自分達で描いた絵や写真で説明していたので、分かりやすい発表でした。稲作をするにあたっての課題を自分達で見つけて解決方法を考えることは主体的な学習であると思いました。
- 説明の際に日本語と英語が書かれた文章とイラストや写真を示していたのは、グローバルかつバリアフリーで、分かりやすくとても良い工夫だと思いました。毎日食べているお米を扱うのは親しみやすく楽しく学べる教材だと思いました。
- 田植えをしてから稲刈りをするまで水の管理や草刈りなど丁寧に米作りをされていましたね。皆さんの発表にもあったように、見るだけでなく実際に自分たちでやってみると初めてわかることがたくさんありますね。また、課題も見つけながら活動されていたところが素晴らしいと思いました。
- 素晴らしい発表をありがとうございました。屋久島町立八幡小学校の皆さんの発表を聞いて感じたことは、米づくりを田んぼづくりから始め、昔の道具を使うなど、八幡小学校だからこその活動を行っている点が、地域の特色（自然の豊かさや人の温かさ）を活かしていて素晴らしいなと思いました。私も小学校第五学年に米作りをしました。私の地元では五郎兵衛米というブランド米があります。その地域にあるブランド米の歴史や作り方を学習し、実践するという活動は今でも強く印象に残っています。私たちの地域で作られる五郎兵衛米は東京や大阪など遠くの地域で食べられておいしいと言われていることを知り、嬉しかったという思いもしました。そこで、八幡小学校のみなさんにも、自分たちの地域で作られたお米はどこで食べられるのか？歴史や文化にはどのようなものがあるのかを知るとさらに自分たちの地域に愛着が湧くのかなと思いました。

- 作業を一つ一つていねいに米作りをしていたことが発表から伝わってきました。私も小学校五年生のときに米作りをしました。ここまで細かくやっていたと思います。今回学んだことを活かして、これから米作りにチャレンジする人たちに伝えていってください。発表ありがとうございました。
- 地元の人から、稲刈りの仕方や大変さ、それを昔から行っていることに驚きました。どれだけ不便で大変な事だったんだろうと私も感じました。また、この発表を聞いて、コメ作りを始めて詳しく聞いてよくわかりました。
- 花壇を田んぼにして、その花壇で米づくりをすることを通して様々な課題を子ども達で発見し、その課題を子ども達自身で解決していく姿が伝わってきました。また、水の管理など難しく、毎日行ったことを聞いて、子ども達の中で継続する力も身についたのではないかと思わせる実践でした。
- 屋久島の米作りをきっかけに、自分の町の文化や産業の特色を学ぶと追う流れが素晴らしかったです。また米作りの課題点を話すことが問題解決を実践の場で行うことにつながっており、勉強になりました。そして現在重要視される SDGs と関連付けた発表になっており、素晴らしかったです。
- 米作りを初めて行ったということで、米を作ることだけでなく、お米のいいところや作ることのよさなどに気づくことができているのではないかと思います。また写真や手書きの絵などを見せて頂いたことにより活動の内容が分かりやすく伝わったと思います。
- 屋久島で稲作ということがすでに驚きだったのですが、子どもたちがそれぞれに体験に終始せず、課題をもってやっているのが素晴らしいと思いました。
- 実際に米作りを体験したからこそ感じる良さが大変さが見えるということを経験させていただきました。田車を用いた活動など、現在だと農薬等で済ませてしまう部分を人力で行うことで、環境にかかる負荷を軽減することができる上、先人たちの苦勞も学ぶことができる素敵な活動だと思いました。また、わらやもみ、ぬかも鶏や畑の肥料に活用することは循環型農業を肌で感じられる活動だと思いました。ただ単に米作りをするという活動から、先人のことを考える視点、循環型社会を考えるという視点が組み合わさる素晴らしい米づくりの活動になっているように感じました。米作りの活動に対する考え方が少し変化してきました。ありがとうございました。
- 米作りを体を通して具体的に経験して行くことを課題解説していく姿に、探究的な姿勢が見られました。
- お米のことが調べられており、様々な観点から発表ができていて素晴らしいと感じました。今後も地元のことをテーマとした活動を続けてほしいと思います。発表も堂々としていて素晴らしかったです。
- 花壇を田んぼにして、地域の方々指導をいただき、稲作を体験出来て良かったですね。「つくろう魅力ある屋久島」をスローガンに取り組まれているのは素晴らしいです。翌年のためのもみの確保もされていることは持続可能な活動としてとても大事だと思います。SDGsにおいて、2・12・14・15に関して繋がる活動だったと思います。